



洗心の松

揺籃だより

令和4年度 藤井小学校だより 1月号



揺籃の藤

教育目標 豊かな心で助け合う子ども よく考え進んで学習する子ども 健康でたくましい子ども
～洗心の松のように大きく根を張り、揺籃の藤のように美しく、たくましい大木になろう～

あけましておめでとうございます 本年もよろしくお祈りします

新たな年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。新しい年のスタートは3学期のはじまりでもあります。3学期は今年度を締めくくる大切な学期です。教職員一同、最善を尽くして教育活動を展開してまいります。

さて、今年は藤井小学校創立150周年の節目の年を迎えます。現在、令和5年度の記念行事の実施に向けてPTA本部役員の皆様と共に企画検討しているところです。本校の合い言葉の一つ(ふるさとを愛し)にもあるように、子供たちにとって「心のふるさと」になるような1年にしたいと考えております。

**育ったところ 必ずしも家庭ではない
心を育てられたところが 家庭である
学んだところ 必ずしも母校ではない
よき師よき友に巡り会えたところが 母校である
生まれたところ 必ずしも故郷ではない
心をとどめたところが 故郷である**

この詩は、人間が最後に行きつくところは、真に心を育ててくれたところであることを教えてくれています。子供たちの中には、住み慣れた藤井地区や壬生町、栃木県、日本を離れて生きていく子供もいます。そのようなとき、ふと「ふるさと」を思い出すことがあるのではないのでしょうか。それはたと

えば親や家族のこと、兄弟や姉妹のこと、先生や友達のこと、故郷の山河のこと、時には郷愁を覚えることがあるかもしれません。いずれにしても、心に刻まれた「ふるさと」は、子供たちにとって大切な原風景です。学校・家庭・地域がそれぞれの立場で子育ての役割を分担し、社会全体で子供たちの心を育むことを通して、家庭も地域も学校も「ふるさと」として子供たちの心に宿ると思います。そして、「ふるさと」は子供たちが大人になったとき、生きる勇気を与える心の支えとなるのではないのでしょうか。

本校では、PTAや地域の皆様、学校支援ボランティアの皆様などが「子供たちのために」と様々な場面でお力添えをいただいております。そのような皆様の姿一つ一つが、子供たちの心に深く「ふるさと」を刻み込んでいくと確信しております。今年も様々な教育活動を通して、子供たちの生きる力を育ててまいります。今後とも保護者の皆様の温かい御支援・御協力をよろしくお祈りします。

3学期に頑張りたいこと！

1月10日(火)、子供たちが元気に登校して第3学期がスタートしました。子供たちの始業式への参加態度は素晴らしく、新年や3学期への希望が持てる式となりました。3学期は学習のまとめの時期となります。子供たちがしっかりとしたためあてを持って、充実した学校生活を送れるよう教職員一同応援していきます。



<第3学期始業式児童代表作文発表より>

「たくさんの漢字練習をして、漢字がとくいになりたいです。また、なわとびがたくさんとべるように、休み時間にもたくさん練習したいです。」(1年 ●● ●●さん)
「なわとびで二重とびを20回以上とべるようにたくさん練習したいです。家庭学習にも毎日一時間以上取り組みたいです。高学年として低学年にやさしくしたいです。」(4年 ●● ●●さん)

壬生高生との交流で笑顔いっぱい!

今年度も壬生高校生と一緒にクリーン活動を行いました。天気にも恵まれ、学校周辺の美化活動を行いました。後半は、鬼ごっこなど共遊を楽しみました。優しく頼もしい高校生とのふれあいは、藤井っ子にとって貴重な経験となっています。



12月9日(木)、4～6年生の子供たちが壬生高等学校を訪問し、福祉コースの生徒さんたちから点字を教わってきました。いつも笑顔で迎えてくれる高校生のやさしさに子供たちも安心して交流ができたようです。年齢の異なる高校生との交流活動は、藤井っ子の夢や志を持つことにもつながります。今後も壬生高校との連携は継続していきます。



御結婚おめでとう!

4年担任の●●●●教諭が1月6日に結婚しました。おめでとうございます。引き続き、温かな御支援と御協力をくださいますよう、よろしくお願いたします。



※本校には、壬生小学校区にお住いの方も通学できます。事前に連絡をいただければ、いつでも学校の様子を見学できます。
※詳細は藤井小学校ホームページをご覧ください。子供たちの活動の様子がたくさん紹介されています。携帯電話からもご覧になれます。左のQRコードを携帯のバーコードリーダー機能で読み取ってご覧ください。

